

# すいとぴあ江南の今後についての座談会結果

## ◆ 実施の目的

市では、江南市公共施設再配置計画で定めたすいとぴあ江南の今後の方向性を令和8年度に決定することとしています。

方向性の決定において、北部地域が描くビジョンやその中ですいとぴあ江南が果たすべきミッションについて整理し、施設稼働状況など客観的な指標や公共施設更新問題を踏まえ、賑わいの拠点やシンボル等の必要な機能について、意見をお聞きし今後の方向性の検討に活用します。

## ◆ 開催日時及び参加者

日時	説 明	10月20日（月） 13：25～13：55
	座談会	10月27日（月） 13：15～13：45
場所	北部中学校 応接室	
参加者	生徒（5名）	

### プログラム

#### 【説 明】

- すいとぴあ江南の今後について（約10分）
- 質疑等（約20分）

#### 【座談会】

- 座談会（約30分）

## ◆ すいとぴあ江南の今後についての概要

すいとぴあ江南の今後について、すいとぴあ江南の維持費用や利用状況、今後の検討における市の考え方などを説明しました。

#### 【今後の検討における市の考え方】

##### ○すいとぴあ江南の位置づけ

財源不足により全ての公共施設を現在と同規模で維持・更新することができない状況のため、行政関与の必要性が高い小中学校・保育園などを優先し、行政関与の必要性が低いすいとぴあ江南は維持・更新が難しい施設。

##### ○すいとぴあ江南の将来像

近隣施設や遊歩道・サイクリングロードと連携し、木曽川の自然を楽しむ水と緑のネットワークを形成し、多くの人に親しまれる場所にしたい。



## ◆ 座談会

テーマ 「北部地域の将来の姿」

- 【キーワード】
- ・すいとぴあ江南の将来
  - ・多くの人に親しまれる場所
  - ・シンボル、賑わいの拠点

座談会のテーマ、キーワードを念頭においていただきながら、面積3haある「すいとぴあ江南」が今後どのような場所になるといいか、担う役割や機能についてご意見を伺いました。

### ○座談会の様子



### ○意見（抜粋）

#### ○にぎわいの創出について

- ・植樹広場で人を見かけないので、ここを活用してはどうか。
- ・公共施設で難しいと思うが、近隣（学生の行動範囲）に映画館がないのでここにできるといい。隣接市町からの需要もあると思う。
- ・子どもが遊べる施設が少ないので、アスレチックやスポーツ施設（サッカー、バスケット、陸上等）があるといい。
- ・施設のリニューアルオープンは、花火などのイベントと同時にを行うことで集客アップにつながる。
- ・目に見える景色が変わると癒し効果で人も集まってくると思うので、季節ごとのイベント（ハロウィン、クリスマスのイルミネーション等）を増やしたり、花を植えたりすると効果があるのではないか。
- ・市民がすいとぴあ江南に行く目的として、江南市で育てた野菜等を売る地産地消の仕組みを作ると効果があると思う。
- ・木が多く自然環境がいいので、キャンプ場、バーベキュー場、道の駅など人が集まる施設として整備してはどうか。
- ・中学生は気軽に楽しめるショッピングモールとかレストランによく行く。ショッピングモールの様にいろいろな施設が小さくても混ざっているような施設ができたら、人が集まると思う。

- ・すいとぴあ江南の集客をあげるために、中学生が遊びに行きたくなる他の公共施設を隣接してはどうか。
- ・「縁」は芝生広場や植樹広場で感じられるが、「水」の活用が感じられない。池を噴水にしてライトアップするなど「水」の活用を検討してはどうか。

#### ○展望台について

- ・展望は1度利用したら2度目の利用はしない。展望カフェや星空観察など再び利用したくなるような仕掛けが必要。

#### ○その他

- ・花火大会は継続して欲しい。

自分たちが暮らす場所でたくさん的人が同じ時間を笑顔で過ごせるイベントは、誰にとっても心に残るもの。

- ・江南市にはすいとぴあ江南、フラワーパーク、トコトコラボなどいい場所があると思うが、距離が離れていて行きづらい。無料のシャトルバス、タクシーなどをを利用して、小さい子どもや学生、ご年配の足腰の悪い方々が行きやすくなるといい。
- ・北部中学校は花火清掃ボランティアですいとぴあ江南に行く。ボランティア活動を大きくして市内の学校全体で行いたい。

## ◆まとめ

施設の多機能化・複合化や集客を促すイベントの開催など友達や家族との時間を気軽に楽しむことができ、何度も訪れたくなる場所にする意見などすいとぴあ江南の将来を考える上で、とても参考になる意見ばかりでした。

今後の検討におきましても、すいとぴあ江南を含む北部地域全体の将来像を「多くの人に親しまれる場所」「江南市のシンボル」「賑わいの拠点」といったキーワードを念頭に置きつつ、財政面や地域のニーズなども総合的に勘案し、持続可能な形で地域の魅力を高められるよう、市民の皆さんのお意見をうかがいながら検討を進めていきたいと考えています。